



特養・医務の紹介



介護課長
鈴木 かよ子

ご利用者が笑顔で生活して頂けるように、ご利用者の処遇の決定や職員の業務管理及び関係機関の交渉を行っています。



生活相談員
新谷 裕生

ご利用者がより良い生活を送って頂けるように、ご家族・介護・看護スタッフ・関係機関等と様々調整を行っています。



特養サポート
鍵山 仁人

ご利用者が快適な生活を送って頂けるように、生活空間の掃除を行っています。

特養シリーズが最後を迎えるました。ここでは、ユニットに属していない職員の紹介をします。役職はそれぞれ介護課長・生活相談員・特養サポートと違う立場ですが、特養で生活されているご利用者の日々の生活を支えるスタッフの「潤滑油」として存在します。また「ご利用者とスタッフ」の事を第一に考えて日々の援助が滞らない様に見守り、陰に日向になつて支えている「縁の下の力持ち」の役割を担っています。ある時は、ご家族や、ボランティア・学校その他の関係機関などへ窓口としても活躍しています。

こんにちは。医務は施設内診療所も併設しています。

私達、看護師の主な仕事は、ご利用者、職員の健康管理、感染予防、褥瘡や皮膚トラブルの予防及び処置、薬の配薬の管理です。

特養では、体調が悪くても自分から伝える事ができないご利用者が多いので、介護スタッフと連携して一人一人の日々の健康状態をしっかりと把握するように努めています。

急に具合が悪くなった時は、バイタルサイン（血圧、体温等）のチェック、状態の観察をして救急度を判断し主治医に連絡して、指示を仰いだり救急搬送を依頼したり適切な医療が受けられるようにします。特養の看護師は知識と判断力が求められるので、日々新しい医療について勉強していくかなければと思っています。



介護職と連携し、ご利用者が笑顔で健康に過ごせるように努めます。

介護あれこれ 第5回 デイサービスの効果について

皆さんはデイサービスと聞くと何を思い浮かべますか？遊びに行く所、お風呂に入る所と思われる方が多いのではないかでしょうか。前号のはまゆう 67 号の日常のひとこまで紹介したクラフトもそうですが、一見遊んでいる、暇つぶしに見えるレクリエーションが実は脳や体にいい影響を与えています。楽しくレクリエーションをおこなうことや体操をすることで健康に過ごせるプログラムをデイサービスでは考えています。今回は土肥・戸田デイサービスで行っているレクリエーションや体操の紹介とその効果について説明します。

★歌を唄う効果

デイの午前プログラムでは、季節を感じる歌を唄います(3ヶ月に1回歌を変更)。また、歌を唄いながら曲のリズムに合わせて身体を動かす体操も行っています。体操の振り付けを覚え、曲に合わせながら身体を動かすことで身体機能の運動だけではなく、頭の体操にもなります。

発声練習や大きな声を出すことで、気分解消になります。また、新しい歌を覚えることで脳を使い、昔の歌は当時の様子や生活を覚え出すことで気持ちを高めます。歌を唄うことで認知症予防につながります。



★口腔体操

口腔体操は发声練習(声を出す、早口言葉)・舌や頬を動かす体操(舌を出したり、頬をふくらませる等)・首や肩をほぐす体操を昼食前に唾液の分泌を良くするために行います。

食べ物を食べる時には、唾液が重要になります。唾液が分泌することで、咽ごみ防止につながります。また、口腔体操を行うことで、飲み込む力や噛む力が維持・向上し、誤嚥による肺炎のリスクも軽減できます。



頬をふくらませる 両手で頬を押す

★ゲーム

・身体機能を使うゲーム

例：ボウリング・的当て・玉入れ・輪投げなど

上記のゲームは、目的の物に向けて球や輪を投げることで、腕の筋力や腰などを使います。

身体を動かすことで、身体機能の維持・向上を図ります。



・頭脳を活用するゲーム

例：連想ゲーム・しりとり(文字数限定)・言葉作りゲーム

上記のゲームは脳を使うので、認知症予防になります。

他の人とゲームすることで、交流のきっかけにもなり、楽しみを見つけることができます。



3 文字限定しりとり

詳しくは
ホームページ
まで！



納涼祭実行委員長 新谷 裕生



納涼祭の裏側も
配信中

土肥ホームの日々 検索

さて、今年の納涼祭では、土肥ホームからの出し物として、すいか割りを企画。ご利用者や、来場された方に参加して頂き、ハラハラドキドキするすいか割りになりました。
演芸でご協力いただいたいる団体の皆様は、披露する演目を毎年変更して下さり、多くに盛り上がるプログラムとなりました。

また、今年の模擬店は、「すいか」が仲間入り。その場でカットして提供。暑いこの時期にはたまらない一品となりました。他の模擬店も人気のあるものばかり。あつとう間に完売！
今年の納涼祭も、地域の皆様に支えられながら、無事に終了する事ができました。参加したご利用者の笑顔がみられました。職員一同本当に感謝しております。ありがとうございました。

7月25日（土）土肥ホームにて毎年恒例の納涼祭を開催しました。台風の接近で開催が心配されました。が、当日は天候に恵まれ納涼祭日和となりました。

納涼祭



土肥ホームの星

質問① 介護〔福祉〕の仕事をするきっかけを教えて下さい。

叔母や従兄が障害を持っており、私の周りの大人達が誰かの手助けをしたり手伝つたりする姿を見ていたので元々「福祉」が身近なものでした。また、私自身も小さい頃から人のお世話をすることが好きだったので中学生の頃には既に福祉の道へ進もうと決めていました。特に何がきっかけというわけではありませんでした。

質問② 介護〔福祉〕の仕事をしていて良かったことは何ですか？

脳梗塞で片麻痺になってしまった祖母を実家の両親が自宅で介護をしていたのですが、この仕事をしていたおかげで少しですが手伝うことができました。それから、自宅での介護の大変さを実際に両親から学び自分の仕事に活かす事ができて良かったと思います。

質問③ 仕事をされながらお子さんを育てられていますが、いつも元気印の植松さんですね！その元気な秘訣を教えて下さい。

また、仕事と子育てを両立する事の大変さや工夫している事は何ですか？これから子育てをしながら仕事をされようとしている方にメッセージをお願いします！

元気な秘訣・・・何でしよう？この仕事を楽しいと思つてやっているからでしょうか？でも、家事や子供の事とやらなくてはいけない事が沢山あって家ではへこんだりイライラしたりする事も多いです。そんな時はその時のストレスに合った解消法をします。例えば・・・

〔1〕家が散らかっている「子供が散らかす」→実家に子供を預け、ひたすら家の片付け！

〔2〕誰かに話を聞いてほしい→「女子会」をする「まだ私も女子です！」

〔3〕心を落ち着かせたい→穏やかな気持ちになれる本を読むなど・・・

子育てと仕事の両立は私一人が頑張つても、とてもできません。子育てしやすい時間や、日数で働かせてくれる職場と、困ったときに助けてくれる上司、同僚そして家族の支えがあるからだと思います。頑張ります。頑張りすぎず助けてもらえるところは頼らせてもらつて感謝する。そしてこれから私ができる事で恩返ししていくことを思っています。

植松眞呂香

土肥戸田ホームヘルプ
土肥デイサービス
平成10年4月入社

栄養摂取改善部会

食事サービス向上委員会

従来の食事サービス向上委員会の中にご利用者の健康、栄養の状態を他職種（看護師・介護士・調理師・栄養士）が関わり、低栄養状態の改善、褥瘡、嚥下機能低下等を未然に防ぎ、チームとして取り組みことで心身ともに穏やかに日常生活を送つて頂くことを目的とし、「栄養摂取改善部会」を立ち上げました。

褥瘡のある方、低栄養状態、体重増加等など問題点があります。改善していくようチームで取り組んでいきたいと思います。



新人紹介

特 養



ショートステイ相談員
兼介護職員

小松久子

はじめて相談業務を担当します。ご利用のこと、業務のことを早く覚えたいと思いまます。よろしくお願ひします。

菜の花ホーム



介護職員

高橋利枝子

ご利用者と共に笑い、泣き、悲しみ、共に喜びを分かち合えたらと思っております。よろしくお願ひ致します。

菜の花ホーム



介護職員

永岡千代子

ご利用者の皆様がお元気で過ごされますように教えていただきながらがんばって行きたいたいと思います。よろしくお願ひ致します。

菜の花ホーム



介護職員

勝呂栄子

はじめてお会いする方、顔見知りの方などいつも笑顔であります。早く仕事になれて皆さんと一緒に楽しく笑顔で1日が送れるように頑張ります。宜しくお願ひします。

土肥戸田ホームヘルプ



介護職員

小村まゆみ

福祉の仕事は初めてのことなので皆さんに教えてもらい1日でも早く仕事に慣れるよう頑張りたいと思います。宜しくお願ひします。

戸田デイサービス



介護職員

堤 明子

とても暖かな感じが伝わってくる戸田デイサービスで、人生の先輩からたくさん学んでいきたいと思います。

土肥・戸田地域における人口減少と高齢化は深刻な問題であり、土肥地区では人口が4,000人を下回り、戸田地区でも3,100人を下回り、高齢化率は両地区とも45%を超えていました。このことは入所系サービスの入居申込者の減少、在宅サービスのご利用者の減少にも現れています。また、職員の採用においても専門職の確保が困難な年でした。この状況の中、各サービス事業とも質の向上とり効率的な運営を目指しました。

特養では、リフトやベッド、個浴等の導入によりご利用者の安心した生活と職員の介護負担の軽減を図りました。また、看護職員体制の充実を図りサービス向上に努めました。

土肥地区の在宅サービスでは、介護保険制度の改正により平成27年度から総合事業へ移行されましたが、スムーズに移行できるよう準備することが出来ました。

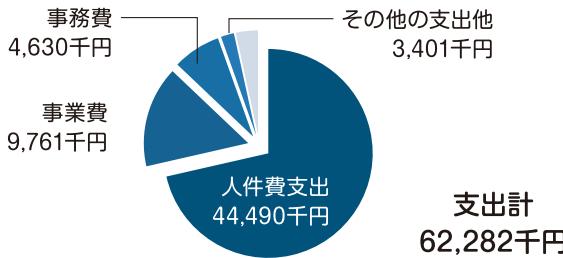
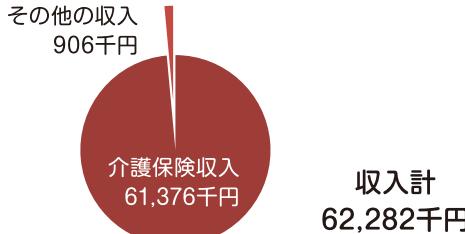
戸田デイサービスでは、ご利用者の軽度化がここ数年顕著に現れていますが、ご利用者の状況に合わせたサービスの提供に努めました。

今後もサービスの質の向上を目指し、皆様の期待と信頼に応えられるよう、事業運営を行なつて参りますのでよろしくお願い致します。

土肥ホーム 施設長
戸田デイサービスセンターセンター長 木下 高次

平成26年度 決算報告

戸田デイサービス



平成26年度のサービス稼働に関して、前年度と比較し、ご利用者の軽度化による報酬が下回っている。

費用面では人件費において、土肥ホームと戸田デイサービスの職員構成を見直し、戸田デイサービスの運営に即した人員配置を行った。

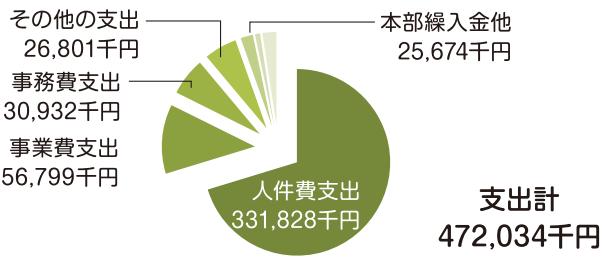
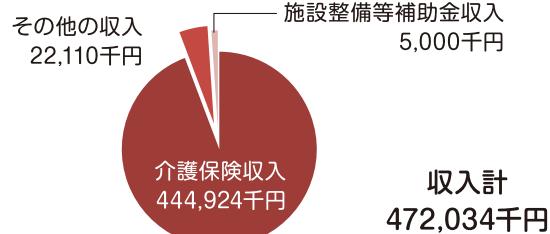
そのため、人員の効率化と人件費の圧縮が実現することとなった。他の経費においても消費税増税の影響から給食材料費の高騰が見られた。

また、温泉設備の使用不可の期間の対応として、給湯設備に切り替えたため、水道光熱費も昨年より上回った。

老朽化資産の更新もあり、収支差額は0円となっている。

今後、戸田デイサービスの経営について、余剰の収支差額が発生するよう健全で安定した経営が課題となる。

土肥ホーム・菜の花ホーム



平成26年度の会計では、当初、土肥ホームにおいて専門職の不在から、影響する加算が算定できず、報酬に影響を及ぼすことがあったが、期中に看護師や管理栄養士の中途採用など、加算の算定要素になり収入アップにつなげた。

また、サービス戦略とし、短期入所サービスの利用者を賀茂地域まで広げるなど、地域を広げたサービス展開とした。

費用面では人件費において、看護師の採用など人件費の増額にも影響した。他の経費では、消費税増税の煽りをうけ、給食材料費が高騰した。他の経費についても、増税の影響を受けている。しかし、光熱水費に関しては工コ委員会の活動と節電の意識を高め、昨年よりも大幅に減額している。

また、昨年比で変動が大きかった経費は給食システム導入費用であり、法人内の3施設で献立の統一を進めるにあたり、研修やシステム導入に費用を投じた。

老朽化設備の更新を27年度に予定していることもあり、26年度会計において、施設整備積立金を積み立てた。

サービス稼働状況では特別養護老人ホームでは昨年に比べ、入居者の重度化により入院が多く、稼働収入が低下した。グループホームに関しては、昨年比で同様の稼働であった。在宅サービスにおいても、病院や他施設へ入院・入所するケースが多く、稼働が低下している。人件費ではトータルな事業規模を常に意識して、効率的な人員管理を目指し、人件費の増加を防いだ。経費では物品購入や保守見直しなどコスト削減を実施している。固定資産整備では老朽化した資産について取得からリースに移行した。今後も中長期計画に向けて資金留保をめざす運営を目標とする。

編集後記

今年の夏は猛暑、酷暑と言う言葉がぴったりでしたね！皆さん熱中症など体調を崩される事はありませんでしたか？

9月になり涼しくなってきましたが、まだまだ油断は出来ません。夏に溜まった疲れが出てきます。引き続き、体調には充分お気をつけください。

大石 亮太郎

